

名前：マルチマルチ警告アドイン
版：Ver.1.0.0

作者：綾木 健一郎（弁理士登録番号 15532 番）
日付：令和 4 年 3 月 19 日

1. 始めに

1. 1. 何をするものなのか

マルチマルチ警告アドインは、Windows 環境の Word に組み込まれて、Word 文書に記載された請求の範囲に、マルチマルチクレームが記載されていることを警告するものです。C# で記載されています。

1. 2. マルチマルチクレームとは

特許法施行規則及び実用新案法施行規則の一部を改正する省令（令和 4 年 2 月 25 日経済産業省令 10 号）が公布され、令和 4 年 4 月 1 日に施行されます。その改正部分を以下に記載します。

特許法施行規則第 2 4 条の 3 第 5 項 [新設]

他の二以上の請求項の記載を択一的に引用して請求項を記載するときは、引用する請求項は、他の二以上の請求項の記載を択一的に引用してはならない。

実用新案法施行規則第 2 4 条の 3 第 5 項 [新設]

他の二以上の請求項の記載を択一的に引用して請求項を記載するときは、引用する請求項は、他の二以上の請求項の記載を択一的に引用してはならない。

これにより、マルチマルチクレームは拒絶理由に該当するものとなります。

マルチマルチクレームとは、例えば以下の請求項 4 のようなものをいいます。

【書類名】特許請求の範囲

【請求項 1】特定構造のボールベアリング。

【請求項 2】内輪がステンレス鋼である請求項 1 記載のボールベアリング。

【請求項 3】外輪がステンレス鋼である請求項 1 又は 2 記載のボールベアリング。

【請求項 4】外輪の外側に環状緩衝体を設けた請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のボールベアリング。

【請求項 5】前記環状緩衝体はゴムである請求項 4 記載のボールベアリング。

請求項 2 は、請求項 1 または 2 の記載を択一的に引用するマルチクレームです。

請求項 4 は、このマルチクレームを引用すると共に、請求項 1 から 3 の何れかの記載を択一的に引用するマルチクレームであり、マルチマルチクレームと呼ばれます。

1. 3. マルチマルチ警告アドインの特徴

・ Word 文書に記載された請求の範囲・特許請求の範囲・実用新案請求の範囲を直接にチェックします。
なお、特許庁から配布されているマルチマルチチェッカーの動作を参考とさせていただきました。ここに感謝の意を表します。

<https://www.jpo.go.jp/system/patent/shinsa/letter/multimultichecker.html>

2. 使い方

2. 1. 取り扱い種別

マルチマルチ警告アドインは、フリーソフトウェアです。

本ツールは現状有姿のままご提供します。本ツールにより発生した如何なる損害についても、作者は一切責任を負わないものとします。

2. 2. 動作環境

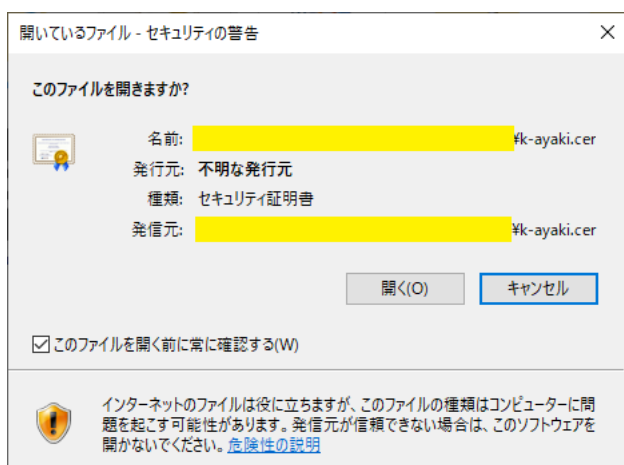
Windows10(64bit)+Word365(32bit)と、Windows10(64bit)+Word365(64bit)で動作確認しています。

2. 3. インストール方法

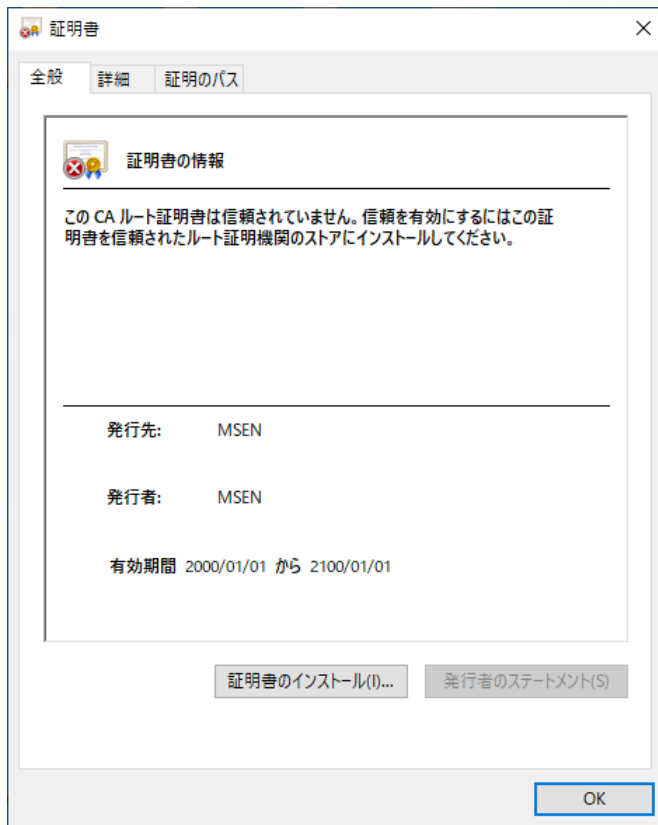
(1) MultiMultiWarning100?.zip を所望のパスに解凍してください。

(2) 電子証明書 k-ayaki.cer をシステムにインポートします。

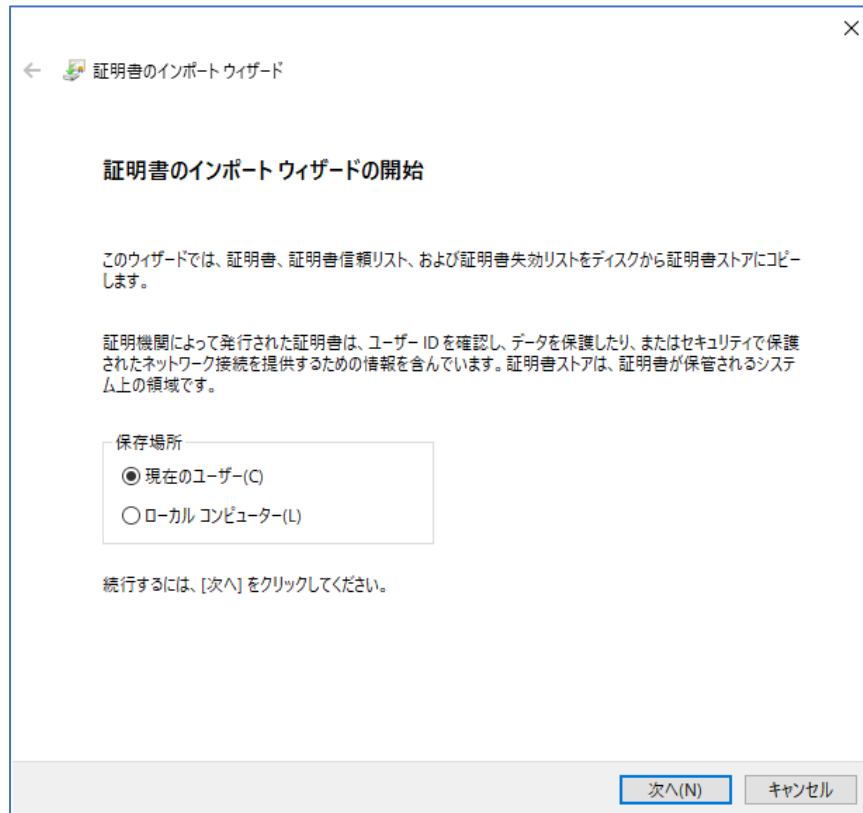
(2-1) k-ayaki.cer をダブルクリックして、開くボタンをクリック



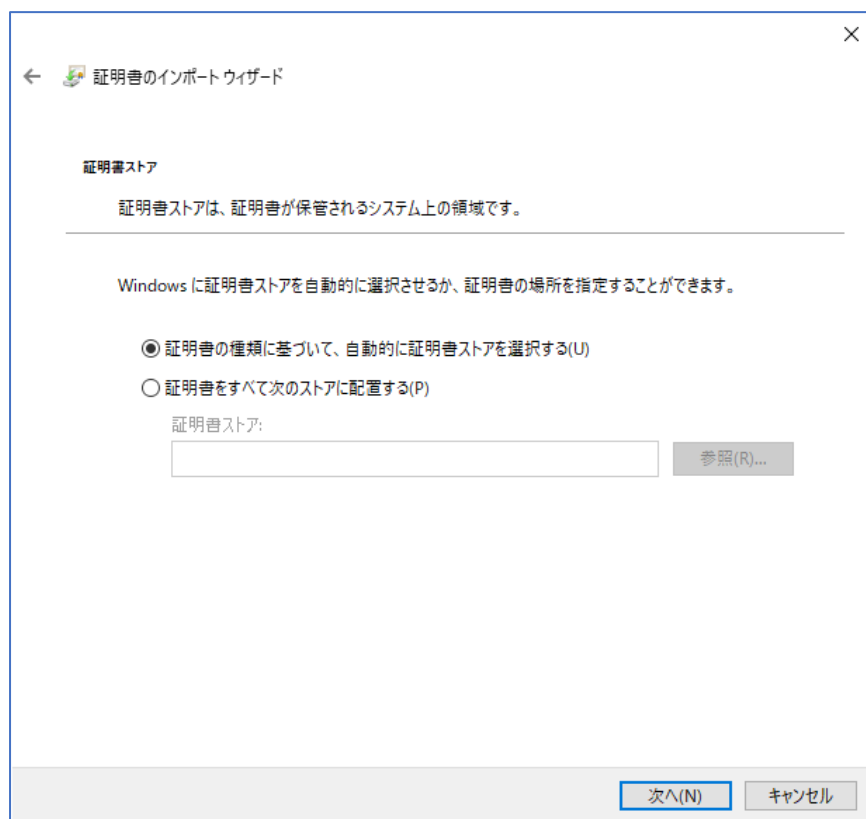
(2-2) 証明書の情報ダイアログが開くと、証明書のインストールボタンをクリック



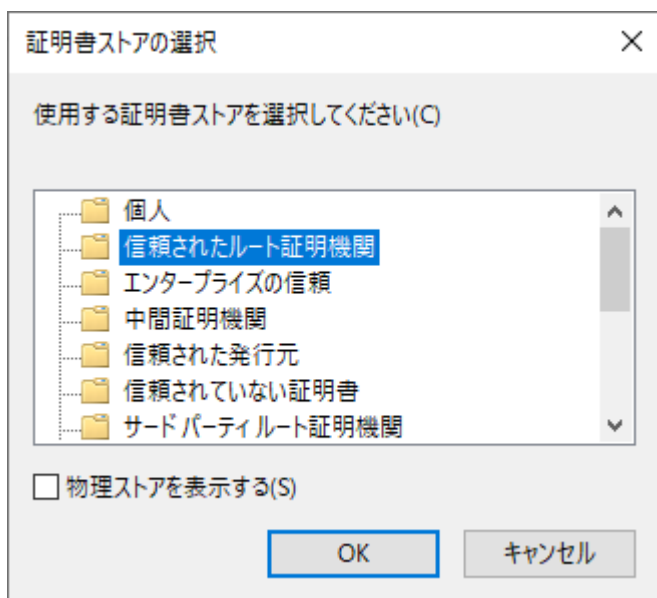
(2-3) 証明書のインポートウィザードが開くと、次へボタンをクリック



(2-4) 証明書ストアダイアグにて、「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択して、参照ボタンをクリック



(2-5) 証明書ストアの選択ダイアログにて、「信頼されたルート証明機関」を選択して OK ボタンをクリック



(2-6) 証明書ストアに「信頼されたルート証明機関」が設定されたならば次へボタンをクリック。

← 証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☐ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

☒ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

信頼されたルート証明機関

参照(R)...

次へ(N) キャンセル

(2-7) 証明書のインポートウィザードにて、次へボタンをクリック

← 証明書のインポートウィザード

証明書のインポートウィザードの完了

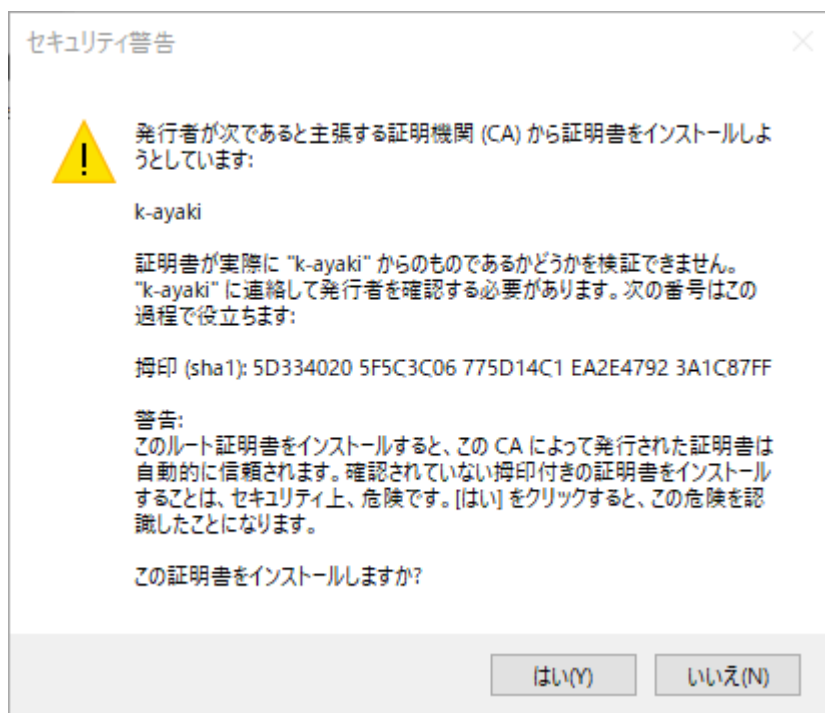
[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。

次の設定が指定されました:

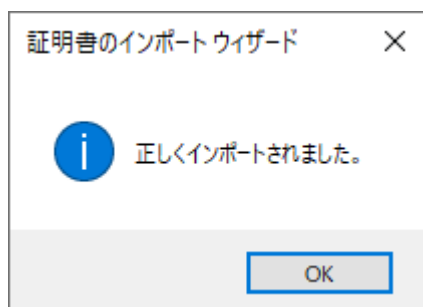
ユーザーが選択した証明書ストア	証明書の場所
信頼されたルート証明機関	証明書

完了(F) キャンセル

(2-8) セキュリティ警告にて、はいボタンをクリック



(2-9) 正しくインポートされましたと表示されると、証明書のインポートは終了です。

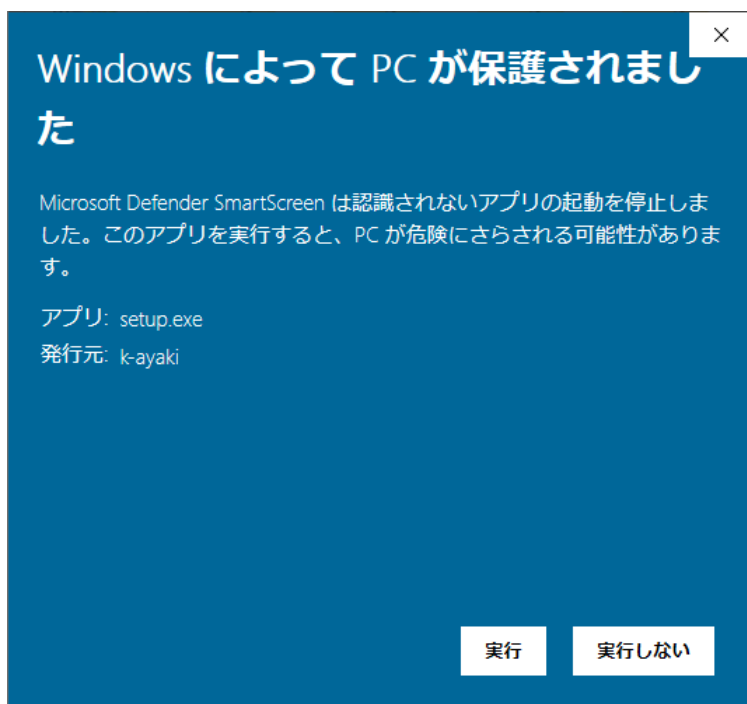


(3) setup.exe を実行してインストールします。

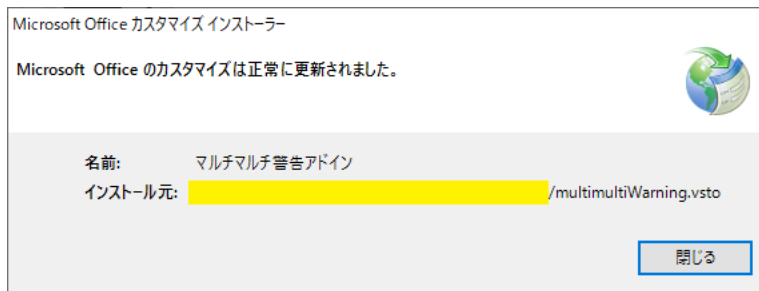
(3-1) 保護画面が表示されると、詳細情報をクリック



(2-2) 証明書の情報ダイアログが開くと、証明書のインストールボタンをクリック



(2-3) 証明書のインポートウィザードが開くと、次へボタンをクリック

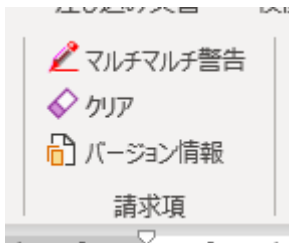


3. マルチマルチ警告アドインの説明

3. 1. リボン

Word を起動すると AppLint リボンが追加されています。

マルチマルチ警告ボタン、クリアボタン、バージョン情報ボタンの3つが操作可能です。



3. 2. 「マルチマルチ警告」ボタン

「マルチマルチ警告」ボタンをクリックすると、マルチマルチクレームとその参照に対してコメントが付与されて警告されます。

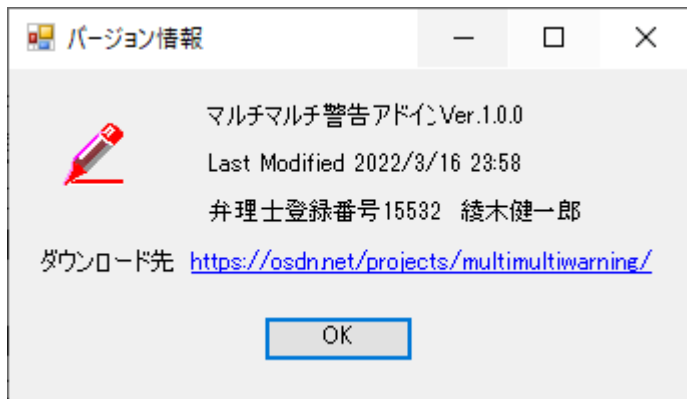
更に、水色のマーカーと黄色マーカーで、クレーム本文が示されます。

<p>【書類名】 特許請求の範囲</p> <p>【請求項 1】 特定構造のボールベアリング。</p> <p>【請求項 2】 内輪がステンレス鋼である請求項 1 記載のボールベアリング。</p> <p>【請求項 3】 外輪がステンレス鋼である請求項 1 又は 2 記載のボールベアリング。</p> <p>【請求項 4】 外輪の外側に環状緩衝体を設けた請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のボールベアリング。</p> <p>【請求項 5】 前記環状緩衝体はゴムである請求項 4 記載のボールベアリング。</p>	<p>AppLint マルチマルチクレーム</p> <p>AppLint マルチマルチクレームの引用</p>
---	--

3. 3. クリアボタン

「クリア」ボタンをクリックすると、コメントとマーカーがクリアされます。

3. 4. バージョン情報ボタン



4. アンインストール方法

Wordを終了させた状態で、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」を選択し、マルチマルチチェックを削除してください。

5. 作者への連絡方法

Linkedin : <https://www.linkedin.com/in/ken-ichiro-ayaki-965b2a8a/>

Mail: kenichiro_ayaki@users.osdn.me

6. 配布ファイルとその構成

setup.bat ... インストーラを起動

setup.exe ... インストーラ

multimultiWarning.vsto

¥Application Files

k-ayaki.cer ... 証明書ファイルです。

README.txt ... この使用説明書ファイルです。

カテゴリが異なる類型.docx

マルチマルチクレーム類型.docx

引用部分が複数の類型.docx

7. 履歴

ver.1.0.0.7 ... 初版（令和4年3月19日）

以上